

# はあとのあと

“心を綴ったノート” “心が奏でる音”

2008(3)

第11号



七夕祭り(珠洲市宝立町)

## 病院理念

“市民の心の支えとなる、地域の中核病院に”

1. 疾病の予防から在宅医療までの一環した体制の確立を目指します。
1. 安心と信頼の地域医療を目指します。
1. いたわりの心で皆様の健康と命を守ります。

## 目次

- ・お母さんと赤ちゃんの絆 ① 1  
～母乳育児とガンガルーケア～
- ・お母さんと赤ちゃんの絆 ② 2  
～健やかな成長を願って～
- ・「ふれあい看護体験」を行ないました  
&看護師募集の案内
- ・高次脳機能障害 ～左半側空間無視～ 3
- ・CT 装置更新のお知らせ 4

お母さんと赤ちゃんの絆 ① ～母乳育児とカンガルーケア～ 産婦人科医長 山城 玄



世界で5才未満の子が年間970万人死亡し、その60%に栄養失調が関係しています。日本の様な先進国では関係の無い話と思われるでしょうが、30年前にWHO（世界保健機関）/ユニセフが世界の子供の為に母

乳で育てる運動を始めました。母乳は、その子にとって理想的な栄養ですし、体だけでなく心にとっても重要な栄養なのです。

今、私達の病院でのお産は、生まれたら臍の緒を切って直ぐにお母さんが赤ちゃんを抱っこします。赤ちゃんはお母さんに抱かれると直ぐに安心して泣き止み、寝ている様に静かになりますが、10分位で目を開け、20～30分で手を口を持って来て手の羊水を舐めます。それから手足を動かしてお母さんのお乳に向かって這い上がって来て、50分でお乳に手を伸ばしてお乳を喰わえて飲み始めます。赤ちゃんはこの様に様々な行動をします。



20年以上前に南米のコロンビアの未熟児治療で、それ以前は助からなかったような未熟児を、お母さんが抱っこする事で救命率が高くなる事が分かりました。これが「カンガルーケア」と呼ばれて話題になったのです。

さらに10年以上前のスウェーデンで、生まれた直後の赤ちゃんが、左記の様な行動をすることを詳しく観察した結果、「カンガルーケア」こそ、より赤ちゃんとお母さんに優しい自然な育児として注目されるようになりました。



今、乳児精神医学の研究から、赤ちゃんは2歳までにめざましい肉体的精神的発達が起こり、それまでの怒りや恨みと言った心の傷が、10歳になっても20歳になっても50歳になっても湧き起こることが分かってきました。それだけに、生まれた直後からお母さんと一緒に生活することが、母子の絆、相互関係を強固にし、その後の成長にとてもよい影響を与えてくれるのです。37週以上で生まれた赤ちゃんはおっぱいだけで十分育ちますから、生まれたらすぐに赤ちゃんはお母さんからおっぱいをもらって一緒に生活することが何より大切なのです。当院でも赤ちゃんが生まれたらその直後から退院まで母児同室とすることにしています。

—昨年 WHO は母乳育児は最低2年間以上続ける様にと勧告しています。

お母さんと赤ちゃんの絆 ② ～健やかな成長を願って～

助産師 惣田好恵



母乳は、栄養面で優れた理想の食品であるだけでなく、それを飲ませるといふ授乳行為(skin to skin contact)が**赤ちゃんの心の栄養**にとっても重要な意味を持っていると言われていふます。母乳は

消化吸収がいい為、たくさん飲んだと思っても、またすぐ欲しがって頻回な授乳になることがしばしばです。しかし、そうやって何回も何回も抱っこされることで赤ちゃんは自分自身の存在感を知り、そこで母子の相互作用が生まれることで赤ちゃんとお母さんの信頼関係が築かれていふます。これは将来、社会に出た、人間関係を築く上で大切な基礎となります。赤ちゃんがヒトとして愛情深く健やかに育ち、健全な社会を築くためにも、母乳育児の大切さを再確認してもらえたらとてもうれしいです。ステキな母乳育児をスタートできるよう私たちがお手伝いさせていただきます。

また、分娩スタイルもフリースタイルを取り入れ、産婦さん主体の少しでも楽な体位での分娩が可能です。希望をどんどんおっしゃっていただき、納得のいく楽しいお産を目指しましょう！



面会についてのお願い

当院では、新生児の安全管理・感染予防のため、ご家族以外の方の赤ちゃんへの面会は制限しています。ご家族以外で面会を希望される方は看護師に声をかけてください。

面会される時は、必ず、病室前に設置してある手指消毒液をご利用ください。

**抵抗力のない赤ちゃんを守るため**、何卒ご協力お願いいたします。

「ふれあい看護体験」を行いました&看護職員募集の案内

看護科

5月12日、当院において、「ふれあい看護体験」が行われ、飯田高校、能都北辰高校の生徒さん10人が参加され、血圧測定の見学や、入浴・足浴・食事の介助を行いました。

参加した生徒さんより、後日感想が届き、「笑顔で患者さんに接する様子を見て、私も将来、皆さんのような看護師になりたいと思いました。」  
「看護師は大変な仕事という反面、感謝される喜びの大きい職業だと思いました。患者さんがつらいとき、一生懸命生きようと思う気を起こさせるような看護師になりたいと思いました。」  
という意見がありました。



生徒さんの感想を読む中で、私たち看護師も、看護の仕事のやりがいや喜びを再発見することができました。感想を送ってくれた生徒さん、ありがとうございました。

当院は、市内で唯一の入院施設を備えた病院です。入院されている患者さんには、家族に接するように温かく責任感のある看護を行うよう努力しています。病院に受診するときから、退院してもとの生活に戻るまで、院外の施設やケアマネジャーの方も含めて、連携をとっています。病気だけではなく、患者さんの生活を含めたサポートができるよう今後も努力していきます。

参加してくれた高校生の皆さんは、将来看護の道を考えているようです。立派な看護師さんになって、将来一緒に働けることを楽しみにしています。それ以外にも、珠洲に帰ってくる予定の看護師の方や、就職されていない看護師の方など、ぜひ私達と一緒に働いてみませんか？

就職希望の方は、電話(0768)82-1181 珠洲市総合病院 事務局まで、ご相談ください。

高次脳機能障害 ～左半側空間無視～

作業療法士 滝 さやか



みなさんは“高次脳機能障害”という言葉を知っていますか？

脳卒中などで起こる症状といえば、言語障害や片麻痺（一般の人は半身不随などといったりしますが）といった症状を思い浮かべるとと思います。これらの症状は見た目にもすぐ分かる症状です。これに対して高次脳機能障害というのは、一見したところ分かりにくいのですが、毎日その障害のある人と接していると、どうしてそういう行動をするのか、どうしてそれができないのか、見ていて不思議に感じる症状です。不思議なだけならいいのですが、言語障害や片麻痺以上に日常生活に支障を来す事があります。たとえば高次脳機能障害の中のひとつに“左半側空間無視”という症状があります。これは右大脳半球の障害（左麻痺の方）の40%に出現する頻度の高いものです。

具体的な症状は、

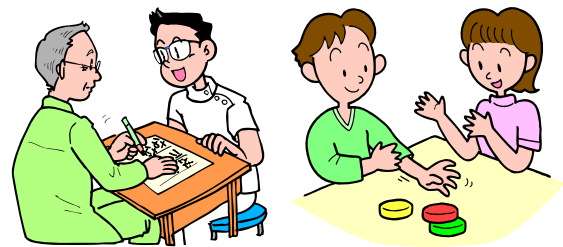
- ・ 頭を右に向けていて左側から名前を呼んでも声のほうを向かない。
- ・ 食事のとき右側に置いたものばかり食べて左側の食器に手をつけない。
- ・ 車椅子に乗っていて停止するときは、ブレーキを両方かけないと危ないのに左側のブレーキを忘れ。
- ・ 部屋から廊下に出ると、行き先が左でも右しか行かない。
- ・ 絵を描いてもらおうと、右半分を描いて左半分を描かない。



つまり、この症状を持った人にとっては、自分の左側にある世界、さらには自分自身の左半身さえも存在しないかのように「無視」してしまうのです。このような症状にもやはりリハビリが必要です。

リハビリの内容は、

- ・ 左半側空間無視の患者さんの左半身に積極的に触れて動かすことで、忘れてしまっている左半身の存在を少しでも意識してもらう。
- ・ パズル、塗り絵などをしてもらって、見落としがちな左側への注意を喚起する。
- ・ 右側ばかり向こうとする姿勢を正しく修正してあげたりして、左側の無視の改善を図る。
- ・ 食事や、着替え、車椅子の乗り降りなどの実際の生活動作の中で、介助や指導を繰り返すことで動作を習得するように促す。



このようにして日常生活の支障を少なくすることを目標にリハビリを実施しています。

しかし、この症状はすぐに改善することは少なく、家族の方にも根気強く接してもらう必要があります。またこの症状のある患者さんは、左側を無視していることに気付かないことが多いため、左足を十分着かないまま立ち上がろうとするなどの危険な行動をしがちです。それだけに家族の方の理解と協力が重要になってきます。ひとつひとつの動作の手順を、介助する人にも同じように理解してもらうことで、障害を少しでも補うことができるようになります。また家族の方の介助だけではなく、家の生活環境を整えることで、さらに患者さんが行動しやすくなります。

高次脳機能障害を持って生活をするは大変ですが、リハビリで改善する余地や、生活環境を工夫する余地はたくさんあります。患者さんが少しでも意欲的に生活を送れるよう、サポートしていきますので、私たちリハビリスタッフを頼りにしてください。頑張ります。

CT装置更新のお知らせ

放射線室

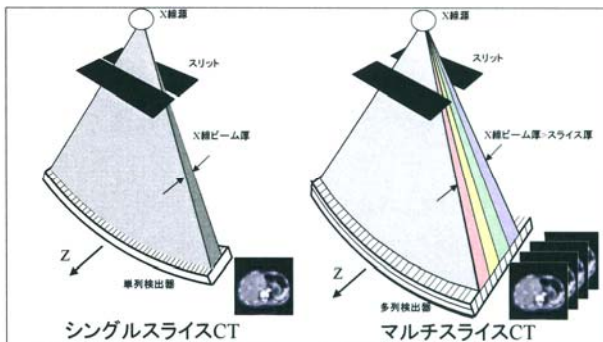
7月14日より当院のCT装置をマルチスライスCT装置に更新しました。



SIEMENS (シーメンス)  
SOMATOM Emotion16

マルチスライスCTとは?

従来、当院で使用していたシングルスライスCTは体のまわりを1回転するときには1枚の画像を作成していましたが、マルチスライスCTは体のまわりを1回転すると**複数枚の画像(当院は16枚)**が作成されます。



・高精細な画像

1スライスの画像の厚さは**0.6mm**と薄く、より小さな病変の診断が可能になります。この薄い画像データをコンピューター処理することによりさまざまな方向からの断面画像(下図・右上図②)や、3D画像(右上図①・③・④)を作成することができます。



シングルスライスCT      マルチスライスCT  
シングルCT・マルチCTの画像比較



①頭頸部血管3D画像      ②腹部冠状断画像



③骨盤～足血管3D画像      ④手骨3D画像

・短時間で広範囲な撮影

1回転の時間も従来の約半分(0.6秒)になり**短時間で広範囲な撮影**が可能になりました。このため、胸部・腹部検査などの息止め時間も半分以下になりました(下図、胸部検査の息止め時間の例)。



シングルCT      30秒

マルチCT      10秒

・被ばくの少ない、安心感のある装置

X線の量をリアルタイムにコントロールして、**胸部腹部の検査で被ばく線量を約20~30%低減**した撮影を行ないます。また、ガントリの開口部(患者さんが検査をする時に通る筒のようなところ)は70cmと従来と変わらない広さのままで、装置の大きさは今までのサイズの約1/2となり、トンネルに入るといような**圧迫感や不安感が少なくなりました**。

装置更新に伴い、より安心して診断価値のある画像を提供していきたいと思ひます。

# 健診科からのお知らせ

## 【特定健診・特定保健指導のご案内】

平成20年4月より40歳～74歳の方を対象に、特定健康診査・特定保健指導の実施が義務化されました。

- ・特定健診の受診券には、受診期間、個人負担金等が記載されていますので、内容をご確認し、健診科へお申込みください。特定健診をお受けになるときは、**予約が必要**となります。

## 【事業所の皆様へ 生活習慣病予防健診のご案内】

政府管掌健康保険加入の被保険者を対象に、生活習慣病予防健診を健診科で実施しております。今年度のお申込みをされていない方は、是非、ご利用ください。

## 【人間ドック・脳ドックについて】

- ・ドックを希望される方は、**2週間前までに予約が必要**となりますので、健診科へお申込みください。
- ・ドックの検査は半日で終了します。検査結果は、約2週間後に自宅へ送付します。
- ・ドックは**保険診療の対象にはなりません**。なお、事業所（共済組合、健康保険組合）により、助成金のでる場合がありますのでご確認ください。
- ・珠洲市在住で国民健康保険加入の方は、珠洲市役所へお申込みください。

※ご不明な点がございましたら、ご遠慮なく健診科までお問い合わせください。

## 外来診療日程

平成20年7月1日現在

午前 受付時間 7:30～11:30 診療時間 9:00～12:30

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	波佐谷				
	2 診	升谷	吉田	竹村	升谷	竹村
	3 診	竹村	升谷	吉田		升谷
外科	坂本	酒井	坂本	正司	酒井	
呼吸器外科	金曜日診療 小田/谷内/今川					
小児科	横山					
耳鼻咽喉科	志賀	榎田				
眼科	鶴岡					
整形外科	羽藤・宮田					
産婦人科	山城					
脳神経外科	浜田	玉瀬/吉田	浜田			
泌尿器科	月曜日診療（月曜日が休日の場合、火曜日診療） 成本/杉本/泉/栗林					
皮膚科	永岡		永岡	藤本		
精神科					西村	

午後 受付時間 12:00～16:00 診療時間 14:00～17:00

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1 診	吉田	竹村	升谷	竹村	吉田
小児科	三種混合	慢性疾患	健診・予防接種			
耳鼻咽喉科		榎田				
産婦人科		産後2週間健診	健康診断	産後2週間健診		

※都合により、一部変更になる場合があります。

## 小児科

- (月) 三種混合 15:00～15:30
- (火) 慢性疾患 14:00～16:00
- (水) 健康診断 14:00～
- 予防接種 15:00～

## 産婦人科

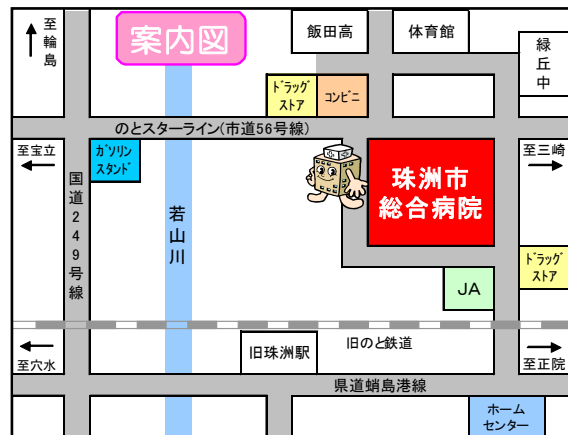
- (火)(金) 産後2週間健診 14:00～
- (水) 健康診断 13:30～

## その他

- (水) 糖尿病予防教室 14:00～15:00
- (月)～(金) 医療相談

※救急患者は、表示時間に関係なく診療いたします。

※午後の新患は、できるだけ15:00までに受付をお願いします。



## 編集後記

8月10日(日)午後、県立田鶴浜高校と合同で、将来、看護師や介護福祉士を目指す中学生とその保護者を対象に「看護・福祉への道」と題して説明会を当院にて実施する予定です。参加をお待ちしております。